

# 北西大西洋のタラ漁場

誌名	水産海洋研究会報
ISSN	03889149
著者名	宇田,道隆
発行元	水産海洋研究会
巻/号	7号
掲載ページ	p. 138-139
発行年月	1965年9月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



## 9. 北西大西洋のタラ漁場

(出所) 1) New Foundland Fishing  
 英国ロウエストフト水産研究所 1962  
 2) The West Greenland Cod Fishery  
 " " 1965)

1) 西大西洋の操業トロール船全数(船体別)は次の如しである。

	1953年	1956年	1959年
51-150トン級船	224隻	229隻	227隻
150-500 "	132	129	166
501-900 "	126	97	209
901-1800 "	78	85	95
1800トン以上	—	1	38
全トン数	24万トン	24万トン	41万トン

タラ(cod)漁場は過去2-3年を通じ次の如くなる。

1月、2月 Belle Isle 水域(3K)

2-4月 南西ニューファウンドランド(3P、4R)、St. Pierre, グリンバンク  
 南(3P30)

5月-9月 北東グランドバンク Bonavista 水域と北方(3L、3K)

8月-10月 南東グランドバンク(3N)

11月-12月 Belle Isle 水域(3K)

ハドックの最良漁場はグランドバンク南斜面(30、2月~4月)南東浅瀬(3N)7月~10月  
 である。

2) 北西大西洋タラ(Cod)国際漁獲量(生1000トン単位)は次表の如くなる。

国別ではニューファウンドランド、ポルトガル、フランス、スペイン等が主で近年の増  
 加はフェロー、ポルトガル、スペイン、ソ連、ドイツ等による。

1963年には英国3%(4万トン、全体1336万トン)であつた。ポーランド、日本も  
 操業には最近参加をはじめている。北大西洋タラは2℃附近の水が300ファズム(530m  
 位)深以浅の海底をおおう区域に多くみられる。グリーンランドのバンクで寒潮流の出会いと  
 ころでアーミング暖流の影響する浅瀬にタラ群がみられ、その北の北極寒流内では見られ  
 ない。スピッツベルゲン沖でも西グリーンランド沖でもタラ漁場の斑状性  
 (Patchiness) は暖寒流の移動と関連する。一般に温暖年はタラにより好適のようで  
 あり、昇温がタラを瀬の上に広く分布させる。タラは平年より温暖だつた1840-1850

	西グリーンランド	ラブラドル	ニューファ ンドランド	ノバ・スコシア	ニューイ ングランド	不 明
5 2	2 9 4	6 1	3 2 8	1 3 2	1 4	1 8 8
5 8	2 4 2	1 2 8	3 5 2	1 5 9	1 1	1 3
5 4	3 0 2	2 2	4 7 2	1 4 9	1 2	1 2
5 5	2 6 5	2 6	4 2 9	1 5 9	1 2	1 0
5 6	3 2 1	3 4	3 9 0	1 9 8	1 3	9
5 7	2 6 9	3 2	4 4 9	1 8 8	1 3	7
5 8	3 2 0	4 0	2 9 4	2 1 4	1 6	—
6 9	2 3 4	6 0	4 2 5	2 1 3	1 6	5
6 0	2 4 3	1 8 8	4 7 1	2 1 8	1 4	—
6 1	3 4 5	2 6 5	4 6 1	2 1 2	1 8	3
6 2	4 5 1	2 5 5	3 8 9	2 1 9	2 6	—
6 3	4 0 6	2 1 6	4 6 6	2 1 2	3 0	—

年代に多く漁獲されてその後1916年頃までは極端に少なかつた。この変化は水温の関係(1870—1917年低温化)に対応する。1920年水温急昇と共にタラ群が復活し、グリーンランド漁業は驚くべき拡大を示した。1863年国際共同調査で東グリーンランド沖のタラ産卵とタラ稚仔がアーミンゲル暖流(ガルフストリーム分枝)に運ばれて漂流を示した。

(宇田道隆)

## 10. 東部及中部太平洋の開発されたカツオ資源の起源説

(出所: B. J. Rothschild B.C.F.Sp.Sc, Rept,  
Fisheries No 512, 1965 pp 1—20)

稚仔魚分布、生殖巣指数、魚体分布、標識放流再捕魚3尾(ローワーカリフォルニア放流、1961年9月の分が21ヶ月後1962年6月77cm大、ハワイで再捕、同年4月放流のが28ヶ月後1962年8月78cm大でハワイ再捕、1961年12月放流のが16ヶ月後クリスマス島で1963年4月70cm大再捕)、漁獲予報、血精学的研究を総合してカツオ資源の仮説をたてた。中部太平洋の赤道水域のが東部太平洋のカツオ資源添加の大部分に貢献する。ハワイ漁獲の大部分は赤道帯水域に起源する。カツオの漁獲予察を論じ、年級強度現象がハワイの水揚に影響していることをのべた。これまでとれている太平洋のカツオの起源と移動についてはもつと資料、実証を集める必要がある。(中部太平洋はハワイ水域、マ